

## 滋賀県新型インフルエンザ対策本部会議 次 第

日時：平成21年5月16日(土)

15:30～

場所：防災対策会議室

### 1 開 会

### 2 議 題

#### (1) 兵庫県神戸市における患者発生に関する状況

(16日12:45:厚生労働省資料)

#### (2) 県の対応について

##### 1) 医療の提供体制の拡充

- ・ 発熱相談センターによる24時間相談体制
- ・ 発熱外来設置の推進
- ・ 新型インフルエンザを疑う方への医療対応

##### 2) 県内サーベランスの充実強化

##### 3) 社会対応について

### 3 閉 会

#### [資料]

資料1 新型インフルエンザ対策本部長（内閣総理大臣）の談話

資料2 国内での最初の新型インフルエンザ発生について

資料3 厚生労働省提供資料（第1報から第5報）

資料4 当面の新型インフルエンザを疑う方への医療対応について

## 新型インフルエンザ対策本部長 (内閣総理大臣) の談話

平成21年5月16日

本日、海外渡航歴のない神戸市在住の日本人男性が、新型インフルエンザに感染していることが、確認されました。罹患された方の一日も早い回復をお祈り致します。

本件は、国内で確認された初の新型インフルエンザの感染です。

政府は、これまで、国内での患者の発生に備え準備を進めてきましたが、今後は、水際対策に加え、患者の行動や濃厚接触者に対する調査を徹底し、その結果を踏まえて国内での感染拡大を防止するための措置を講じていく方針です。

現時点においては、早期に適切な治療を受けることにより、多くの方が順調に回復されています。他方で、慢性疾患患者などにおいては重篤化するとの報告もあり、油断は禁物です。

咳、発熱等のインフルエンザ様の症状がある方は、早めに、最寄りの保健所等に設置されている発熱相談センターに連絡してください。また、人ごみでのマスクの着用や、うがい、手洗い、咳エチケットの励行を徹底してください。

国民の皆様には、引き続き、国や地方自治体が発する情報をよく聞いていただき、警戒を怠らない一方、冷静な行動をお願いします。

## 国内で最初の新型インフルエンザ発生について

本日、国内で最初の新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)の患者1名が確認されました。また、もう2名、同じ学校に通う10代後半の男性と女性が神戸市環境保健研究所で新型インフルエンザ陽性とされ、現在国立感染症研究所に検体を送って、最終的な確認を行うこととしております。これらの方々には皆、海外渡航歴はありませんでした。

まず、患者の方(A:男性)は、5月12日に37.4度の発熱があり、医師の診断を受けたところ、インフルエンザ簡易検査にてA型陽性、B型陰性と判断されました。その後、神戸市環境保健研究所及び国立感染症研究所に当該患者の検体を送り、検査を行った結果、本日11時頃、新型インフルエンザが陽性との結果が確定したものです。

もう2名のうち一名(B:男性)は、5月15日に39度の発熱があり、医師の診断を受けたところ、インフルエンザ簡易検査にてA型陽性、B型陰性と判断されました。その後、神戸市環境保健研究所で新型インフルエンザが陽性との結果が出て、現在、国立感染症研究所で最終的な検査を行うこととしております。

もう一名(C:女性)については、5月12日に38度の発熱があり、13日に医師の診察を受け、インフルエンザ簡易検査にてA型陰性、B型陰性でしたが、神戸市環境保健研究所でPCR検査の結果、新型インフルエンザ陽性と判断されました。現在、国立感染症研究所で最終的な検査を行うこととしております。

次に患者の状況ですが、5月15日の段階では、確定した患者の方(A:男

性)は、咽頭痛及び咳の症状が出ており、体温は36度台であります。また、感染が疑われる方(B:男性)は発熱の症状があり、体温は39.7度でした。もう一名の疑われる方(C:女性)は、鼻汁等はあるが、ほぼ回復しているとのことです。これら3名は、現在、感染症指定医療機関に入院しておられます。これらの皆さんが適切な医療を受け、一刻も早く快方に向かわれることを願っております。

今後の新型インフルエンザ対策についてですが、既に、神戸市保健所が積極的疫学調査を行い、患者の最近の行動及び接触者の状況について調査を開始しております。また、本日、厚生労働省から神戸市に担当官を派遣し、調査や情報収集に当たっています。有症状者や患者と濃厚接触された方については、入院措置又は健康状態の報告を求めるとともに、外出自粛の要請を行うこととなります。

これまでのところ、神戸市におかれては、当面7日間、東灘区・灘区等の幼稚園・小学校・中学校を休校とするとともに、保育所、高齢者通所施設を休所することとしており、また、一般相談窓口の新設、発熱相談センターの回線数の増設などの対応を行っております。

今回のインフルエンザは、仮に感染しても早めに治療を受けることで、多くの方が回復しておられますが、油断なく対策を講じていくことが必要です。

今回、国内で最初の新型インフルエンザの患者が確認されたことを踏まえ、今後の事態の推移も見ながら、都道府県等を通じて次のような対策を行ってまいります。

- ① さきほど申し上げたように積極的疫学調査により、有症状者や患者の濃厚接触者を確定し、入院措置や外出自粛の要請を徹底する等により感染

拡大の防止に全力を尽くします。

- ② 地方自治体においては専門医療機関である発熱外来の設置などもかなり進んできていますが、患者が増加する事態に備え、発熱外来や入院医療機関など医療体制の確保を引き続き推進します。
- ③ 住民に対しては、手洗いや咳エチケットの徹底、人混みを避けるといった、個人でできる感染防止策を徹底するとともに、特に、新型インフルエンザへの感染を疑われる方については、医療機関を受診する前に、保健所等に設けられている発熱相談センターに電話することを徹底することを要請いたします。

現在私たちにとって最も重要なことは、正確な情報に基づき行動することです。私は情報をできるだけ迅速に、皆様に提供したいと思います。

国民の皆様におかれましても、引き続き国及び地方自治体の発表などに留意いただき、正しい情報に基づき、冷静に対応いただくようお願いいたします。

平成 21 年 5 月 16 日

厚生労働大臣

舛 添 要 一

報道関係者 各位

平成21年5月16日  
新型インフルエンザ対策推進本部  
照会先:メディア班  
(電 話) 03(3595)3040  
内線(8778、8779、8780)

【第一報】

兵庫県神戸市における新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が  
否定できない可能性のある患者の発生について

5月15日、兵庫県神戸市において、10歳台後半男性一名について、新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が否定できない可能性のある事例の連絡がございましたので、現時点での状況及び行政の対応について報告いたします。

1 患者に関する情報

(1) 概要

患者は兵庫県神戸市在住の10代後半の男性。本人には海外渡航歴はない。5月11日に悪寒を訴え、5月12日に37.4℃の発熱があり、医師の診察を受け、インフルエンザ簡易検査でA型陽性、B型陰性であった。医師がソ連型と香港型を区別するため、検体を神戸市環境保健研究所に提出した。検体は5月12日に神戸市環境保健研究所に到着し5月15日に検査が行われた。結果がA型(+)、ヒトH1(-)、ヒトH3(-)、新型H1(+)であったため、新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が否定できない可能性のある事例として、神戸市において、更に詳細な検査を行っている旨、厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部に連絡があった。

(2) 患者の状況

5月15日の時点の症状として咳がある。体温は36℃台。現在自宅療養中。  
また、5月12日より抗インフルエンザ薬(リレンザ)を使用している。

(3) 検査について

現在、国立感染症研究所にも検体を送付途中。  
国立感染症研究所の検査結果は5月16日午後に判明予定。

(4) その他

最近の男性の行動及び接触者状況について調査を開始している。

報道関係者 各位

神戸市保健福祉局

新型インフルエンザが否定できない可能性のある患者の状況について

症例 1

- 平成21年5月15日(金) 21:30頃 環境保健研究所より連絡  
(内容) 感染症サーベイランス以外で 開業医の要請で検体を検査したところ、疑いが浮上。
- 受診医療機関 市内A医院
- 築地保健所での検査状況
  - ・検査開始 5月15日 午後
  - ・検査結果判明 同上 19:10
  - H1 ヒト型 陰性、 H3 ヒト型 陰性
  - s/w H1 陽性 (リアルタイムPCR、従来型PCR)
- 国立感染症研究所へ検体を搬送中
- 患者の状況 (患者の母親から聞き取り)
  - ・X高校3年 男性 海外渡航歴なし
  - ・バレーボール部に所属しており、周りでインフルエンザがはやっており(5月8日に1人目が部活を休んだ)
  - ・8日 他校と試合、9日に2人クラブ欠席。10日神戸市外で試合、同日2人体調不良
  - ・体調: 5月11日(発症日) 朝から感冒症状 36.4℃  
5月12日 朝 36.8℃  
登校後 37.4℃  
→体がしんどくなりA医院を受診。  
→A医院で簡易キット検査がA型判明し、リレンザ5日分を処方
  - 5月15日現在 咳が少しあるもののほぼ回復
  - 5月16日 3:15 発熱外来に入院

症例 2

- A医院からの情報により把握
- 患者の状況 (患者の母親より聞き取り)
  - ・X高校2年生 女性
  - ・体調: 5月12日 夜 38℃  
5月13日 A医院で簡易キットがA型判定  
5月15日 ほぼ回復、鼻水少しあり  
発熱外来に入院を指示



**症例 3**

- A医院医師の知り合いのB医院に同症例の患者ありという情報を把握し、患者の親に連絡
- 患者の状況

(医師Bから聞き取り)

・5月15日 熱が出たので受診し、簡易キットでA型判定。リレンザを処方。

(患者の母親から聞き取り)

・X高校2年 男子 サッカー部

5月15日	朝	37.4℃	学校に行ったが早退
	13時	39℃	でB医院を受診。簡易キットでA型判定
	夕方	39.7℃	
	20:00		リレンザ投与
5月16日	1:14		発熱外来入院
	1:54		環境保健研究所
			簡易キット A型 (+)、B型 (-)
	現在		PCR検査中 (7:00 頃に結果判明予定)

報道関係者 各位

平成21年5月16日  
新型インフルエンザ対策推進本部  
照会先:メディア班  
(電話) 03(3595)3040  
内線(8778、8779、8780)

【第二報】

兵庫県神戸市における新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が  
疑われる患者について

### 1. 患者に関する情報

#### (1) 患者の状況

5月16日午前3時30分ごろ、患者は感染症法に基づき、神戸市内の感染症指定医療機関に入院。

#### (2) 検査について

現在、国立感染症研究所に検体を搬送中。国立感染症研究所の検査結果は5月16日午後に判明予定。

### 2. 今後の対応

- 神戸市は、積極的疫学調査(最近の男性の行動及び接触者の状況についての調査)を開始している。この調査により、患者と同じ学校に通う2名について、そのうち1名(10代後半女性)は5月13日に簡易迅速キットによりインフルエンザA型陽性だったことから、発熱外来を受診し、現在入院中である。今後PCR検査予定。もう1名(10代後半男性)は5月15日から発熱しており、5月16日に簡易迅速キットによりインフルエンザA型陽性を認めている。同じく、神戸市内の感染症指定医療機関に入院。今後PCR検査予定。
  - 厚生労働省は16日朝、神戸市に担当官を派遣し、神戸市と協力しながら、積極的疫学調査や情報収集を行う予定。
  - 神戸検疫所は、今後の検査に協力する予定。
- (別添)神戸市が発表した資料は別添の通り

平成21年5月16日  
新型インフルエンザ対策推進本部  
照会先:メディア班  
(電 話) 03(3595)3040  
内線(8778、8779、8780)

報道関係者 各位

【第三報】

兵庫県神戸市における新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が  
疑われる患者について

5月16日、兵庫県神戸市において、10歳台後半男性一名について、新型インフルエンザ(インフルエンザ A/H1N1)が疑われる患者の届出がございましたので、現時点での状況及び行政の対応について報告いたします。

1 患者に関する情報

(1) 概要

患者は兵庫県神戸市在住の10代後半の男性(以下患者Bとする)。5月16日午前0時すぎに届出のあった患者(以下患者Aとする)と同じ高校に通っている。5月15日に発熱し、医師の診察を受け、インフルエンザ簡易検査でA型陽性、B型陰性であった。その後、神戸市内にある感染症指定医療機関の感染症病棟に入院したところ、同病院から新型インフルエンザ(インフルエンザ A/H1N1)が疑われる患者として届出があった。神戸市環境保健研究所で行われたPCR検査で、A型(+)、新型H1(+であったため、新型インフルエンザ(インフルエンザ A/H1N1)の可能性がある。

(2) 患者の状況

5月15日夕方には発熱(39.7°C)。現在、神戸市内の感染症指定医療機関に入院中。また、5月15日より抗インフルエンザ薬(リレンザ)を使用している。

(3) 検査について

現在、国立感染症研究所に検体を送付中。

(4) その他

神戸市が患者の行動及び接触者状況について調査を行っている。

平成21年5月16日  
新型インフルエンザ対策推進本部  
照会先:メディア班  
(電 話) 03(3595)3040  
内線(8778、8779、8780)

報道関係者 各位

【第四報】

兵庫県神戸市における新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が  
疑われる患者について

5月16日、兵庫県神戸市において、10歳台後半女性一名について、新型インフルエンザ(インフルエンザ A/H1N1)が疑われる患者の届出がございましたので、現時点での状況及び行政の対応について報告いたします。

1 患者に関する情報

(1) 概要

患者は兵庫県神戸市在住の10代後半の女性(以下、患者Cとする)。5月16日午前0時すぎに届出のあった患者(以下、患者Aとする)と同じ高校に通っている。5月12日に発熱し、5月13日に医師の診察を受け、インフルエンザ簡易検査でA型陽性、B型陰性であった。5月16日に神戸市内にある感染症指定医療機関の感染症病棟に入院した。同病院から新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が疑われる患者として届出があった。神戸市環境保健研究所で行われたPCR検査で、A型(+)、新型H1(+であったため、新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)の可能性がある。

(2) 患者の状況

5月15日の時点で、鼻汁等はあるがほぼ回復している。

(3) 検査について

現在、国立感染症研究所に検体を送付中。

(4) その他

神戸市が患者の行動及び接触者状況について調査を行っている。

報道関係者 各位

平成21年5月16日  
新型インフルエンザ対策推進本部  
照会先:メディア班  
(電 話) 03(3595)3040  
内線(8778、8779、8780)

## 【第五報】

### 兵庫県神戸市における新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が疑われる患者の発生について

5月15日夜10時頃、兵庫県神戸市から連絡のあった新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が疑われる患者(患者A)について、国立感染症研究所からの検査結果の報告がございましたので、お知らせします。

#### ○ 検査結果(国立感染症研究所)

A型	(+)
H1H1	(+)
H1H3	(-)
新型H1	(+)

このことから、当該疑われる患者Aは、新型インフルエンザの患者であることが確定しました。

患者Aに関する情報、その他の患者に関する情報、今後の対応は、以下のとおりです。

#### 1. 患者Aに関する情報

##### (1) 概要

患者Aは、兵庫県神戸市在住の10代後半の男性。本人には海外渡航歴はない。5月11日に悪寒を訴え、5月12日に37.4℃の発熱があり、医師の診察を受け、インフルエンザ簡易検査でA型陽性、B型陰性であった。医師がソ連型と香港型を区別するため、検体を神戸市環境保健研究所に提出した。検体は5月12日に神戸市環境保健研究所に到着し5月15日に検査が行われた。結果がA型(+)、H1H1(-)、H1H3(-)、新型H1(+であったため、新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)が否定できない可能性のある事例として、厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部に連絡があった。

5月16日午前0時すぎ、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号。以下、「感染症法」という。)に基づき、神戸市内の医療機関から神戸市に対して、新型インフルエンザが疑われる患者としての届出があり、午前3時30分ごろ、患者は、感染症法に基づき、神戸市内の感染症指定医療機関に入院した。

##### (2) 患者の状況

5月15日の時点において、咽頭痛および咳がある。体温は36℃台。5月12日より抗インフルエンザ薬(リレンザ)を使用している。

## 2. その他の患者の状況

- 神戸市が行った積極的疫学調査(患者Aの行動及び接触者の状況についての調査)により、患者と同じ学校に通う2名については、現在、神戸市内の感染症指定医療機関に入院しており、今後、国立感染症研究所において、PCR検査を実施する予定。

患者B:兵庫県神戸市在住の10代後半の男性。患者Aと同じ高校に通っている。5月15日に発熱し、医師の診察を受け、インフルエンザ簡易検査で、A型陽性、B型陰性であった。その後、神戸市内にある感染症指定医療機関に入院したところ、同病院から新型インフルエンザが疑われる患者として届出があった。神戸市環境保健研究所で行われたPCR検査で、A型(+)、新型H1(+であったため、新型インフルエンザの可能性がある。

5月15日の時点で、咽頭痛および頭痛がある。体温は、39.7℃。5月15日より抗インフルエンザ薬(リレンザ)を使用している。

患者C:兵庫県神戸市在住の10代後半の女性。患者Aと同じ高校に通っている。5月12日に発熱し、5月13日に医師の診察を受け、インフルエンザ簡易検査でA型陽性、B型陰性であった。5月16日に神戸市内にある感染症指定医療機関に入院したところ、同病院から新型インフルエンザが疑われる患者として届出があった。神戸市環境保健研究所で行われたPCR検査で、A型(+)、新型H1(+であったため、新型インフルエンザの可能性がある。

5月15日の時点で、鼻汁はあるがほぼ回復している。

## 3. 今後の対応

- 感染症指定医療機関に入院している患者に対しては、神戸市において、適切な入院医療が提供されます。
- 神戸市は、3名の患者について、積極的疫学調査を実施し、濃厚接触者を特定し、その行動や状況について、把握に努めています。
- 厚生労働省は、16日朝、神戸市に担当官を派遣し、神戸市と協力しながら、疫学調査や情報収集に当たっております。
- 今回、国内で最初の新型インフルエンザ患者が確認されたことを踏まえ、今後、都道府県等を通じて、感染拡大の防止、発熱外来や入院医療機関など医療体制の確保等に全力を尽くすこととしております。

## 当面の新型インフルエンザを疑う方への医療対応について

## 【1】発熱外来受診対象者(症例定義の柔軟な運用)

- 対象国への渡航歴、新型インフルエンザ患者との濃厚接触等のある場合は従来の症例定義に基づく者
- 上記以外の場合は  
発熱(38度以上)かつ呼吸器症状(咳、鼻汁、咽頭痛)を有する者。

## 【2】患者対応について

- 1) 発熱外来ではインフルエンザ簡易検査を行う
- 2) A型陽性であれば、検体採取を行う
- 3) 衛生科学センターでPCR検査を行う
- 4) 衛生科学センターの結果が判明するまで、患者に対して入院または自宅待機を依頼する
- 5) 確定した場合には、患者は感染症指定医療機関に入院する。
- 6) 保健所は、積極的疫学調査を行い、濃厚接触者の健康観察および必要に応じて予防投与(タミフル)を行う。

## 【3】発熱外来への誘導

- 1) 当面は感染症指定医療機関がある発熱外来に誘導する
- 2) 上記が困難な場合はそれ以外の発熱外来に誘導する

## 【4】発熱外来以外の医療機関

- 1) 発熱外来受診対象者は一切診療しない。
- 2) 発熱外来受診対象者からの問い合わせあるいは直接来院があった場合は診療を行わず、発熱相談センターへの連絡を指示する。
- 3) 同医療機関において何らかの理由で、インフルエンザ簡易検査を実施し、A型陽性が確認された場合は、至急、所轄保健所に連絡を行う。